

宿泊約款

第1条〔適用範囲〕

1. 当ホテルが宿泊客との間で締結する宿泊契約及びこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については法令又は一般に確立された慣習によるものとします。
2. 当ホテルが法令及び慣習に反しない範囲での特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約を優先するものとします。

第2条〔宿泊契約の申し込み〕

1. 当ホテルに宿泊契約の申し込みをしようとする者は、次の事項を当ホテルに申し出ていただきます。
 - (1) 宿泊者名
 - (2) 宿泊日及び到着予定時刻
 - (3) 宿泊代金（原則として別表第1の基本宿泊料とする）又は当ホテルにて利用可能なクレジットカードの提示
 - (4) その他、当ホテルが必要と認める事項
2. 宿泊客が宿泊中に前項第2号の宿泊日を越えて宿泊の継続を申し入れた場合、当ホテルはその申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申し込みがあったものとして処理します。

第3条〔宿泊契約の成立等〕

1. 宿泊契約は当ホテルが前条の申し込みを承諾したときに成立するものとします。
2. 前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間の基本宿泊料として当ホテルが定める申込金を、当ホテルが指定する日までにお支払いいただきます。
3. 申込金はまず宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第6条及び第17条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば第11条の規定による料金の支払いの際に返還します。
4. 第2項の申込金を同項の規定により当ホテルが指定した日までにお支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとします。ただし、申込金の支払い期日を指定するに当たり、当ホテルがその旨を宿泊客に告知した場合に限ります。

第4条〔申込金を要しないこととする特約〕

1. 前条第2項の規定にかかわらず、当ホテルは契約の成立後同項の申込金の支払いを要しない特約とすることがあります。
2. 宿泊契約の申し込みを承諾するに当たり、当ホテルが前条第2項の申込

金の支払いを求めなかった場合及び当該申込金の支払い期日を指定しなかった場合、前項の特約として取り扱います。

第5条〔宿泊契約締結及び施設利用の拒否〕

1. 当ホテルは次に掲げる場合において、宿泊契約の締結及び施設利用に応じないことがあります。
 - (1) 宿泊の申し込みがこの約款によらないとき。
 - (2) 満室により客室の余裕がないとき。
 - (3) 宿泊しようとする者が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序もしくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき。
 - (4) 宿泊しようとする者又は施設利用する者が次のイからハに該当すると認められたとき。
 - イ 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団（以下「暴力団」という。）、同条第2条第6号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）、暴力団準構成員又は暴力団関係者、その他の反社会的勢力。
 - ロ 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人、その他の団体であるとき。
 - ハ 法人でその役員のうちに暴力団員に該当するものがあるとき。
 - (5) 宿泊しようとする者又は施設利用する者が、次のイから二のいずれかに該当すると認められるとき、又はかつて同様な行為を行ったと認められるとき。
 - イ 他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼすおそれのあるとき。
 - ロ 他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。
 - ハ 泥酔等により他の宿泊客に迷惑を及ぼすおそれのあるとき。
 - ニ 宿泊施設もしくは宿泊施設職員（従業員）に対し、暴力的要求行為が行われ、又は脅迫、恐喝、威圧的な不当要求を行ったと認められるとき。あるいは、宿泊及び施設利用に関し、合理的範囲を超える負担を要求したとき。
 - (6) 宿泊しようとする者が、伝染病患者であると明らかに認められるとき。
 - (7) 天災、施設の故障、その他、やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。
 - (8) 旅館業法第5条第3号「その他都道府県が条例で定める事由」に基づき当該各都道府県が制定する「旅館業法施行条例」の規定する宿泊拒否事由に該当するとき。

第6条〔宿泊客の契約解除権〕

1. 宿泊客は当ホテルに申し出て、宿泊契約を解除することができます。
2. 当ホテルは宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又は一部を解除した場合（第3条2項の規定により当ホテルが申込金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます。）は、別表第2に掲げる違約金を申し受けます。ただし、当ホテルが第4条1項の特約に応じた場合にあっては、その特約に応じるに当たって、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払い義務について、当ホテルが宿泊客に告知したときに限ります。
3. 当ホテルは宿泊客が連絡をしないで宿泊日当日の午後6時（予め到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻を2時間経過した時刻）になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。

第7条〔当ホテルの契約解除権〕

1. 当ホテルは次に掲げる場合においては、なんらの催告なくして宿泊契約を解除し、施設利用を拒むことがあります。
 - （1）宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序もしくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき、又はそれらの行為をしたと認められるとき。
 - （2）宿泊客又は施設利用客が次のイからハに該当すると認められたとき。
 - イ 暴力団、暴力団員、暴力団準構成員又は暴力団関係者、その他の反社会的勢力。
 - ロ 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人、その他の団体であるとき。
 - ハ 法人でその役員のうちに暴力団員に該当する者があるとき。
 - （3）宿泊客又は施設利用客が伝染病患者であると明らかに認められるとき。
 - （4）宿泊客又は施設利用客が次のイからニのいずれかに該当すると認められるとき、又はかつて同様な行為を行ったと認められるとき。
 - イ 他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼすおそれのあるとき。
 - ロ 他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。
 - ハ 泥酔等により他の宿泊客に迷惑を及ぼすおそれのあるとき。
 - ニ 宿泊施設もしくは宿泊施設職員（従業員）に対し、暴力的要求行為が行われ、又は脅迫、恐喝、威圧的な不当要求を行ったと認められるとき。あるいは、宿泊利用及び施設利用に関し、合理的範囲を超える負担を求められたとき。
- （5）天災等不可抗力に起因する事由により宿泊させることができないとき。

- （6）旅館業法第5条第3号「その他都道府県が条例で定める事由」に基づき当該各都道府県が制定する「旅館業法施行条例」の規定する宿泊拒否事由に該当するとき。
 - （7）寝室での寝たばこ、消防用設備等に対するいたずら、その他、当ホテルが定める利用規則の禁止事項（火災予防上必要なものに限る）に従わないとき。
2. 当ホテルが前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客がいまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。

第8条〔宿泊の登録〕

1. 宿泊客は宿泊日当日、当ホテルのフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。
 - （1）宿泊客の氏名、年齢、性別、住所及び職業
 - （2）外国人にあっては国籍、旅券番号、入国地及び入国年月日
 - （3）出発日及び出発予定時刻
 - （4）その他、当ホテルが必要と認める事項
2. 宿泊客が第11条の料金の支払いをクレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを呈示していただきます。
3. 外国人にあっては、本人確認のため旅券のコピーを取らせていただきます。

第9条〔客室の使用時間〕

1. 宿泊客が当ホテルの客室を使用できる時間は、午後3時から翌日正午までとします。ただし、連続して宿泊する場合には、到着日及び出発日を除き、終日使用することができます。
2. 当ホテルは前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に应じる事があります。この場合には次に掲げる追加料金を申し受けます。
 - 超過3時間までは、室料の30%
 - 超過6時間までは、室料の50%
 - 超過6時間以上は、室料の全額

第10条〔利用規則の遵守〕

1. 宿泊客は当ホテル内においては、当ホテルが定めてホテル内に掲示した利用規則に従っていただきます。

第11条〔料金の支払い〕

1. 宿泊客が支払うべき宿泊料金等の内訳は、別表第1に掲げるところによります。

2. 前項の宿泊料金等の支払いは、通貨又は当ホテルが事前に認めたクレジットカード等これに代わり得る方法により、宿泊客の出発の際又は当ホテルが請求したとき、フロントにおいて行っていただきます。
3. 当ホテルが宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。

第 12 条 [当ホテルの責任]

1. 当ホテルは宿泊契約及びこれに関連する契約の履行に当たり、又はそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当ホテルの責めに帰すべき事由によるものではないときは、この限りではありません。
2. 当ホテルは万一の火災等に対処するため、旅館賠償責任保険に加入しております。

第 13 条 [契約した客室の提供ができないときの取扱い]

1. 当ホテルは宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設をあっ旋するものとします。
2. 当ホテルは前項の規定にかかわらず、他の宿泊施設があっ旋できないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。ただし、客室が提供できないことについて、当ホテルの責めに帰すべき事由がないときは、補償料を支払いません。

第 14 条 [寄託物等の取扱い]

1. 宿泊客がフロントに預けた物品又は現金並びに貴重品について、滅失、毀損等の損害が生じたときは、それが不可抗力である場合を除き、当ホテルはその損害を賠償します。ただし、現金及び貴重品については当ホテルがその種類及び価額の申告を求めた場合であって、宿泊客がそれを行わなかったときは、当ホテルは 15 万円を限度としてその損害を賠償します。
2. 宿泊客が当ホテル内に持ち込まれた物品又は現金並びに貴重品であってフロントにお預けにならなかったものについて、当ホテルの故意又は過失による滅失、毀損等の損害が生じたときは、当ホテルはその損害を賠償します。ただし、宿泊客から予め種類及び価額の申告のなかったものについては、当ホテルに故意又は重大な過失がある場合を除き 15 万円を限度として当ホテルはその損害を賠償します。

第 15 条 [宿泊客の手荷物又は携帯品の保管]

1. 宿泊客の手荷物が宿泊に先立って当ホテルに到着した場合は、その到着前に当ホテルが了解したときに限って責任をもって保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際にお渡しします。
2. 宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物又は携帯品を当ホテルに置き忘れていた場合において、その所有者が判明したときは、当ホテルは当該所有者に連絡するとともにその指示を求めるものとします。ただし、所有者の指示がない場合又は、所有者が判明しないときは、法令に基づき処理します。
3. 前 2 項の場合における宿泊客の手荷物又は携帯品の保管についての当ホテルの責任は、第 1 項の場合にあっては前条第 1 項の規定に、前項の場合にあっては同条第 2 項の規定に準じるものとします。

第 16 条 [駐車場の責任]

1. 宿泊客が当ホテルの駐車場をご利用になる場合、車両のキーの寄託の如何にかかわらず、当ホテルは場所をお貸しするものであって、車両の管理責任まで負うものではありません。

第 17 条 [宿泊客の責任]

1. 宿泊客の故意又は過失により当ホテルが損害を被ったときは、当該宿泊客は当ホテルに対し、その損害を賠償していただきます。

第 18 条 [個人情報に関して]

1. 宿泊契約に伴い宿泊客から開示いただきました個人情報は、「個人情報の保護に関する法律」に基づき管理いたします。
2. 宿泊客の個人情報を当ホテル並びに関連ホテル等の情報をご案内する際、使用する場合があります。

第 19 条 [支配する国語]

1. 本約款は日本語と英語で作成されますが、約款の両文の間に不一致又は相違があるときは、日本語を優先するものとします。

【別表第 1】
宿泊料金等の内訳（第 2 条第 1 項及び第 11 条第 1 項関係）

	内訳	
宿泊客が 支払うべき 総額	宿泊料金	(1) 基本宿泊料（室料又は室料＋朝食等の飲食料） (2) サービス料（1）× 10%
	追加料金	(3) 追加飲食等（1）に含まれるものを除く (4) サービス料（3）× 10%
	税金	(5) 消費税 (6) 宿泊税（東京都）

備考 1. 基本宿泊料はフロントに掲示する料金表によります。
2. 税法が改正された場合は、その改正された規定によるものとします。

【別表第 2】
違約金（第 6 条第 2 項参照）

ご予約 お取り消し日	個人	団体
	1 日 9 部屋以下 もしくは 14 名まで	1 日 10 部屋以上 もしくは 15 名以上
不泊	100%	100%
当日	100%	100%
前日	100% [18 時以降]	80%
2 日前	-	80%
9 日前	-	20%
20 日前	-	10%

(注 1) 値は基本宿泊料＋サービス料＋消費税に対する違約金の比率です。
(注 2) 契約日数が短縮した場合は、その短縮日数にかかわらず 1 日分(初日)の違約金を収受します。
特定日に関しましては、別途お取消料が発生することもございます。

Terms & Conditions for Accommodation Contracts

Article 1. (Scope of Application)

1. Contracts for Accommodation and related agreements to be entered into between this Hotel and the Guest to be accommodated shall be subject to these Terms and Conditions, and any particulars not provided for herein shall be governed by laws and regulations, and/or generally accepted practices.
2. In the case where the Hotel has entered into a special contract with the Guest insofar as such special contract does not violate laws and regulations or generally accepted practices, notwithstanding the preceding paragraph, the special contract shall take precedence over the provisions of these Terms and Conditions.

Article 2. (Application for Accommodation Contracts)

1. A Guest who intends to make an application for an Accommodation Contract with the Hotel shall notify the Hotel of the following particulars:
 - (1) Name of the Guest(s);
 - (2) Date(s) of accommodation and estimated time of arrival;
 - (3) Accommodation Charges (based, in principle, on the Basic Accommodation Charges listed in the Attached Table No.1.); and Credit Card payment information.
 - (4) Other particulars deemed necessary by the Hotel.
2. If the Guest requests, during his/her stay, an extension of the accommodation beyond the date(s) in subparagraph (2) of the preceding Paragraph, it shall be regarded as an application for a new Accommodation Contract at the time such request is made.

Article 3. (Conclusion of Accommodation Contracts, etc.)

1. A Contract for Accommodation shall be deemed to have been concluded when the Hotel has duly accepted the application as stipulated in the preceding Article. However, the same shall not apply where it has been proven that the Hotel has not accepted the application.
2. When a Contract for Accommodation has been concluded in accordance with the provisions of the preceding Paragraph, the Guest is requested to pay an accommodation deposit fixed by the Hotel within the limits of the Basic Accommodation Charges covering the Guest's entire period of stay (3 days when the period of stay exceeds 3 days) by the date specified by the Hotel.
3. The deposit shall be first used for the Total Accommodation Charges

to be paid by the Guest then secondly for the cancellation charges under Article 6 and thirdly for the reparations under Article 17 as applicable, and the remainder, if any, shall be refunded at the time of the payment of the Accommodation Charges as stated in Article 11.

4. When the Guest has failed to pay the deposit by the date as stipulated in Paragraph 2 the Hotel shall treat the Accommodation Contract as invalid. However, the same shall apply only in the case where the Guest is thus informed by the Hotel when the period of payment of the deposit is specified.

Article 4. (Special Contracts Requiring No Accommodation Deposit)

1. Notwithstanding the provisions of Paragraph 2 of the preceding Article, the Hotel may enter into a special contract requiring no accommodation deposit after the Contract has been concluded as stipulated in the same Paragraph.
2. In the case where the Hotel has not requested the payment of the deposit as stipulated in Paragraph 2 of the preceding Article and/or has not specified the date of the payment of the deposit at the time the application for an Accommodation Contract has been accepted, the Hotel shall be treated as having accepted a special contract prescribed in the preceding Paragraph.

Article 5. (Refusal of Accommodation Contracts)

The Hotel shall have the right not to accept the application for an Accommodation Contract under any of the following cases:

- (1) When the application for accommodation does not confirm with the provisions of these Terms and Conditions;
- (2) When the Hotel is fully booked and no room is available;
- (3) When the Guest seeking accommodation is deemed liable to conduct himself/herself in a manner that will contravene the laws or act against the public order or good morals in regard to his/her accommodations following (a) to (c);
 - (a) The law in respect to prevention, etc. against illegal actions by gang members(1991 Law item77)stipulated article2 item2(hereinafter referred to as "gang group").gang member stipulated by the same law article2 item6(hereinafter referred to as "gang member").gang group semi-regular members or gang member related persons and other antisocial forces.
 - (b) When gang group or gang members are associates of corporations or other bodies to control business activities.

- (c) When a corporate body has related persons to gang members
- (4) When the Guest seeking accommodation can be clearly detected as carrying an infectious disease;
- (5) When the Hotel is requested to assume an unreasonable burden in regard to his/her accommodation;
- (6) When the Hotel is unable to provide accommodation due to natural calamities, dysfunction of the facilities and/or other unavoidable causes;
- (7) When the Guest seeking accommodation is deemed liable to behave in a manner that will infringe upon other Guests of this Hotel or behaves in such a manner, due to intoxication or other causes.
- (8) When the Hotel deems the guest as inappropriate

Article 6. (Right to Cancel Accommodation Contracts by the Guest)

1. The Guest is entitled to cancel the Accommodation Contract by so notifying the Hotel
2. In the case where the Guest has cancelled the Accommodation Contract in whole or in part due to causes for which the Guest is liable (except in the case where the Hotel has requested the payment of the deposit during the specified period as prescribed in Paragraph 2 of Article 3 and the Guest has cancelled before the payment), the Guest shall pay cancellation charges as listed in the Attached Table No.2. However, in the case where a special contract as prescribed in Paragraph 1 of Article 4 has been concluded, the same shall apply only when the Guest is informed of the obligation of the payment of the cancellation charges in case of cancellation by the Guest.
3. In the case where the Guest does not appear by 6:00 p.m. of the accommodation date (or 2 hours after the expected time of arrival if the Hotel is notified of it) without an advance notice, the Hotel may regard the Accommodation Contract as being cancelled by the Guest.

Article 7. (Right to Cancel Accommodation Contracts by the Hotel)

1. The Hotel may cancel the Accommodation Contract without notice under any of the following cases:
 - (1) When the Guest is deemed liable to conduct and/or have conducted himself/herself in a manner that will contravene the laws or act against the public order and good morals in regard

- to his/her accommodation following (a) to (c);
- (a) Gang group, gang group semi-regular members or gang member related persons and other anti social forces.
- (b) When a corporate body or other organization where gang groups or gang members control business activities.
- (c) In a corporate body which has persons relevant to gang member in its board member.
- (2) When the Guest can be clearly detected as carrying an infectious disease;
- (3) When the Hotel is requested to assume an unreasonable burden in regard to his/her accommodation;
- (4) When the Hotel is unable to provide accommodation due to natural calamities, dysfunction of the facilities and/or other unavoidable causes;
- (5) When the Guest seeking accommodation is deemed liable to behave in a manner that will infringe upon other Guests of this Hotel or behaves in such a manner, due to intoxication or other causes.
- (6) When the Guest does not observe the rules prohibiting certain actions specified under the House Regulations stipulated by the Hotel (restricted to prohibitions deemed necessary in order to prevent fires), such as smoking in bed, and tampering with the firefighting facilities;
- (7) When the Guest does not comply with a payment request by the Hotel
- 2. In the case where the Hotel has cancelled the Accommodation Contract in accordance with the preceding Paragraph, the Hotel shall not be entitled to charge the Guest for any services which he/she has not received.

Article 8. (Registration)

1. The Guest shall register the following particulars at the front desk of the Hotel on the day of accommodation:
 - (1) Name, age, sex, address and occupation of the Guest(s);
 - (2) Except in the case of a Japanese national, nationality, passport number, port and date of entry in Japan;
 - (3) Date and estimated time of departure, and
 - (4) Other particulars deemed necessary by the Hotel

2. In the case where the Guest intends to pay his Accommodation Charges prescribed in Article 11 by any means other than cash in Japanese currency, such as traveler's cheques, coupons or credit cards, such means of payment shall be shown in advance at the time of the registration prescribed in the preceding Paragraph.
3. The Hotel requires all overseas guests to present their valid passport and ID.

Article 9. (Occupancy Hours of Guest Rooms)

1. The Guest is entitled to occupy the contracted guest room of the Hotel from 3 p.m. on the day of registration until 12 p.m. (noon) on the day of departure.
2. The Hotel may, notwithstanding the provisions prescribed in the preceding Paragraph, permit the Guest to occupy the room beyond the time prescribed in the same Paragraph. In this case, extra charges shall be paid as follows:
 - (1) excess until 3 hours: 30% of the room charge
 - (2) excess until 6 hours: 50% of the room charge
 - (3) excess after 6 hours: 100% of the room charge

Article 10. (Observance of House Regulations)

1. The Guest shall observe House Regulations established by the Hotel, which are posted within the premises of the Hotel.

Article 11. (Payment of Accommodation Charges)

1. The breakdown and method of calculation of the Accommodation Charges, etc., that the Guest shall pay are as listed in the Attached Table No.1.
2. Accommodation Charges, etc., as stated in the preceding Paragraph, shall be paid at the front desk at the time of the Guest's departure or upon request by the Hotel in cash in Japanese currency, or by such other means as shall be acceptable to the Hotel such as traveler's cheques, coupons or credit cards.
3. Accommodation Charges shall be paid even if the Guest voluntarily does not utilize the accommodation facilities once such facilities have been made available to him/her by the Hotel.

Article 12. (Liabilities of the Hotel)

1. The Hotel shall compensate the Guest for any damages, if the Hotel has caused such damages to the Guest in the fulfillment or the non-

fulfillment of the Accommodation Contract and/or related agreements. However, the same shall not apply in the case where such damage has been caused due to reasons for which the Hotel is not liable.

2. The Hotel has received the Certificate for Fire Prevention issued by the Fire Department. Furthermore, the Hotel is covered by a Hotel Liability Insurance in order to deal with unexpected fires and/or other disasters.

Article 13. (Handling when Unable to Provide Contracted Rooms)

1. The Hotel shall, when unable to provide contracted rooms, arrange accommodation of the same standard elsewhere for the Guest insofar as practicable with the consent of the Guest.
2. When arrangement of other accommodations cannot be made notwithstanding the provisions of the preceding Paragraph, the Hotel shall pay the Guest a compensation fee equivalent to the cancellation charges and the compensation fee shall be applied to the reparations. However, when the Hotel cannot provide accommodations due to causes for which the Hotel is not liable, the Hotel will not pay the compensation fee to the Guest.

Article 14. (Handling of Deposited Articles)

1. The Hotel shall compensate the Guest for any loss, breakage or other damage caused to goods, cash or valuables deposited at the front desk by the Guest, except in the case when this has occurred due to causes of force majeure. However, for cash and valuables, when the Hotel has requested the Guest to report the kind and value thereof but the Guest has failed to do so, the Hotel shall compensate the Guest up to the maximum of 150,000 yen.
2. The Hotel shall compensate the Guest for any loss, breakage or other damage caused, through intention or negligence on the part of the Hotel, to goods, cash or valuables which are brought onto the premises of the Hotel by the Guest but are not deposited at the front desk. However, for articles of which the kind and value have not been reported in advance by the Guest, the Hotel shall compensate the Guest up to the maximum of 150,000 yen.

Article 15. (Custody of Baggage and/or Belongings of the Guest)

1. When baggage of the Guest is brought into the Hotel before his/her arrival, the Hotel shall be liable to keep it and to hand it over to the Guest at the front desk at the time of his/her check-in only if the Hotel has agreed to do so in advance.
2. When baggage or belongings of the Guest are left behind after his/her check-out, and the ownership of such articles are confirmed, the Hotel shall inform the owner of such articles and ask for instructions. When no instruction is given to the Hotel by the owner so informed or when the ownership is not confirmed, the Hotel shall keep the article for 6 months and 14 days including the date it is found, and after this period, the Hotel shall dispose of it according to the Lost Property Act.
3. The Hotel's liability in regard to the custody of the Guest's baggage and belongings in the case of the preceding two paragraphs shall be assumed in accordance with the provisions of Paragraph 1 of the Preceding Article in the case of Paragraph 1 of this Article, and with the provisions of Paragraph 2 of the same Article in the case of Paragraph 2 of this Article.

Article 16. (Liability in regard to Parking)

1. The Hotel shall not be liable for the custody of a vehicle of the Guest when the Guest utilizes the parking area or the space in front of the Entrance of the Hotel, whether the key of the vehicle has been deposited to the Hotel or not as the Hotel merely offers the space for parking. However, the Hotel shall compensate for any damage caused through intention or negligence on the part of the Hotel in regard to the management of the parking lot.

Article 17. (Liability of the Guest)

1. The Guest shall compensate the Hotel for any damage caused through intention or negligence on the part of the Guest.

Article 18. (Policies Concerning Personal Information Protection)

1. The Hotel shall ensure the protection of personal information that the Guest provides in conjunction with the Accommodation Contract under the "Act On the Protection of Personal Information".

Article 19. (Governing Language)

1. These Provisions are written both in Japanese and English. In the event of any inconsistency or difference between the two versions of these Provisions, the Japanese version shall prevail in all respects.

Table No. 1. Calculation Method for Accommodation Charges, etc.

	Contents	
Total Amount to be paid by guests	Accommodation Charge	(1)Basic Accommodation Charge (Room Charge) (2)Service Charge((1) x 10%)
	Extra Charges	(3)Meals and Drinks and other Expenses (4)Service Charge((3) x 10%)
	Tax	(5)Consumption Tax (6)Tokyo Accommodation Tax

Table No. 2. Cancellation Charge

	Contracted Number of Guest	No Show	Accommodation day	1Day before	2Days before	9Days before	20Days before
Individual	1 to 9	100%	100%	after 6p.m. 100%	—	—	—
Group	10 or more	100%	100%	80%	80%	20%	10%

1. The percentage signifies the rate of cancellation charges to the Basic Accommodation Charges, service charge and consumption tax from the entire period.
2. When the number of days contracted is shortened, cancellation charge for the first day shall be paid by the Guest regardless of the number of days shortened.